

II. いわざき授産所の事業報告

方針 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスを提供に努めました。利用者の思いを聞き、それを日中活動の場に活かして魅力ある施設利用に努めました。加えて、送迎を行い、継続的な施設利用に繋がるよう努めました。

生活介護は、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、また、高齢化に向けた情報収集をし、体力・身体機能の維持につながる活動や生活の中で考えて進めるよう支援し、楽しみや生きがいを感じられるようにしました。

相談支援においては、障がい者等やその家族の意思、選択に基づいたサービス利用に係る利用計画の作成および適切に福祉サービスが提供されるよう支援を行いました。

日中一時支援を必要とする利用者に対し、活動の場の提供、見守りをし、社会に適応するための日常的な支援・指導を行うことで、在宅の障がい者等の福祉の向上を図りました。

開所日数 267日 (内、コロナ感染防止のため在宅支援3日)

I) 生活介護事業

サービス提供時間 9:00～16:00

1. いわざき授産所の状況

(1) 利用者

利用(契約)人数(令和5年3月31日現在)

障害福祉サービス事業所 (生活介護：定員40名)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生介	39	39	39	39	39	39	40	40	39	39	38	38	468
合計	39	39	39	39	39	39	40	40	39	39	38	38	468

年齢(令和5年3月31日現在)

	～18	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男	0	1	6	2	8	4	2	23
女	0	0	1	1	5	7	1	15
合計	0	1	7	3	13	11	3	38

障害者総合支援法に基づく障害支援区分(令和5年3月31日現在)

区分	認定無し	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	3	11	4	5	23
女	0	0	0	4	3	3	5	15
合計	0	0	0	7	14	7	10	38

市町村別(令和5年3月31日現在)

小牧市	38名
-----	-----

(2) 職員 22名(令和5年3月31日現在)

管理者1名、サービス管理責任者1名、看護職員1名、生活支援員14名、事務員1名、調理員3名、嘱託医師1名 ※兼務職員数を含む

2. 支援・指導

生産活動や療育的活動等の提供を行いました。

(1) 生産活動

- ・利用者一人ひとりの能力や障がい特性を考慮し、できることやできそうなことを個々に合わせて作業を提供しました。
- ・就労に向けた支援では、就労を希望する利用者の働く姿勢を指導したことにより、生活介護事業の利用から就労継続支援B型の事業所へステップアップしました。

【内容】 自主作業：印刷、縫製、仕入れ、資源回収、農園
受託作業：ガス器具部品組立、自動車部品組立、電気設備部品組立
※全員が協力して忙しい作業をお互いに手伝い合いました。

【時間】 9：30～15：30の間

(2) 日中活動

- ・利用者のニーズ・課題を把握し、基本的な生活習慣（身辺処理、みだしなみ、食事マナーなど）が確立できるよう、日常的な内容から支援・指導を行いました。
- ・自己表現ができる場や興味関心から内容を自己選択できる機会を設け、本人の意思で参加内容を決定していけるように支援・指導を行いました。
- ・療育的活動や創作的活動が楽しめるよう利用者の思いを聞き、その内容を活動に取り入れて提供しました。また、心身ともに健康な生活が送れるように支援しました。

<日々の活動>：散歩・レクリエーション 等

【内容】 療育的活動（リトミック・音楽療法等）
創作的活動（作品作り・興味関心のある取り組み等）
生活に関する活動（そうじ・買い物・社会資源の活用等）
健やか活動（個人の年齢や心身の状況に合わせた体操やレクリエーション等の活動）
もちもち活動（地域貢献）（地域への奉仕活動やお困りごとのお手伝い等）

【時間】 13：00～15：30の間

<活動内容>

グループ活動 … 「生産活動－工賃－楽しみ」が結びつくよう地域の社会資源に出かけ、工賃を使用する機会として買い物等行い、自立生活に結びついていくよう支援しました。

いきいき活動（芸術・音楽・体操）
… 自分を表現する場として、また、新たな能力を見つけ余暇を楽しめるよう支援しました。

全体活動（ゴミゼロ、いわざき塾、レクリエーション、体力づくり）
… 地域貢献の1つとして施設周辺の清掃を行いました。また、楽しみながら身体を動かす活動や日常生活に役立つ情報提供を行いました。

日常生活に役立つ情報：SDGsについて

グループホームについて

歯磨きについて 等

お楽しみ活動 … 利用者の様々な興味関心から企画をし、各自が好きな内容を選択して楽しく過ごす時間にしました。

そうじの日 … 身の回りの片づけや机拭きなど経験を通して指導しました。

ティータイム … 自己選択やリラックスする時間として飲み物等を用意し、仲間と親睦を深める時間となるよう支援しました。

代表者会 … 利用者の思いを聞く機会とし、雰囲気作りや助言をすることで、個々の思いが話しやすいように支援しました。

※日々の活動は、原則として隔週で金曜日の午後および土曜日の午後に行いました。

※その週に休日や行事等がある時は、活動を中止または調整をしました。

3. 各種会議・職員研修・広報

・会 議

職員会議（年13回）	運営・行事の検討、利用者の処遇向上等
個別支援計画会議（年24回）	利用者個々の処遇向上、モニタリング報告、個別支援計画の作成・見直し・確認等
評価会議（年2回）	利用者の作業姿勢および工賃等
サービス評価会議（年1回）	施設サービスの自己評価 ※回覧により報告
調整部会（年0回）	施設の課題等の整理、検討
作業部会（年12回）	就労支援・就労者フォロー、就労会計（工賃支給）、新作業導入
生活部会（年12回）	施設内の対人関係、ボランティアの受入、防災備品
広報部会（年12回）	「なかまの“わ”」、ホームページ・フェイスブック等各種PR

・職種別合同部会

支援スタッフ部会（年各1回）	作業部（中期経営計画の取り組み） 生活部（施設サービス評価） ※必要に応じて電話にて連絡
事務担当者部会（年14回）	予算作成、会計運用、インボイス等
調理担当者部会（年0回）	
保健・看護担当者部会（年1回）	薬の管理方法、健診のあり方、次年度計画等 ※必要に応じて電話にて連絡
広報担当者部会（年3回）	ホームページ、広報紙、中期経営計画の取り組みについて、SNSの扱い方 ※必要に応じて電話にて連絡

・職員研修

施設外研修	各種団体等の研修会（年9回、延14名）※オンラインを含む
法人内研修	職員合同研修会（年1回）※各事業所にて ・講義～「意思決定支援」について ・研修報告～「障害者虐待防止に関する研修」について ・研修報告～「安全運転管理講習」について
施設内研修	年度末研修会（年1回、22名） ・「障害者虐待防止法の理解と対応」 ・小牧福社会 身体拘束の適正化のための指針 出張報告会等（年6回）
資格取得奨励	該当なし
自主研修利用	該当なし

・広報紙

授産所だより（毎月1回 利用者）	発行部数	40部
------------------	------	-----

・実行委員会

いわざきふれあいまつり実行委員会（年2回）

4. 行事等の活動

月	日	行事等の内容
4	1	入・開所式
	14	家族会総会
	20	健康診断（やまもとクリニック）
	26～28	春の大掃除（WAX）
5	12～13	家族参観、座談会
	25	防犯訓練
6	1～30	家庭訪問（自宅位置確認）
	29	レントゲン検診（あいち健康クリニック）
7		
8	13～15	夏季休暇
	26	消防設備点検
9	1	防災訓練
	8	歯科検診
	15	家族向け講習会
10	3～31	秋の小旅行
	19	インフルエンザ予防接種（やまもとクリニック）
11	1	年賀状印刷受付開始
	11	小牧福祉会職員合同研修会
	13	スポ・レクのつどい（パークアリーナ）
12	3	いわざきふれあいまつり
	23	小牧ライオンズクラブ慰問
	29～1/4	年末年始休暇
1	5	仕事はじめ、初詣
	14	成人を祝う会・新年会
	17	防災訓練
2	1～28	三者懇談会
	14	消防設備点検
3	2/28～3/3	いきいき展（味岡市民センター）
	10	防災訓練
	23	次年度事業説明会
	31	利用者年度末特別休暇

※個別懇談会（モニタリング）を一人当たり年2回以上実施

※イオン（マックスバリュ） 幸せの黄色いレシートキャンペーン（毎月11日）に参加（0回）

5. 参加バザー

期 日	事 業 内 容	期 日	事 業 内 容
5/28～29	こまき産業フェスタ<中止>		岩崎デイサービスセンター秋まつり<中止>
	たがた苑まつり<中止>	11/22	小牧市社会福祉大会
	豊寿苑夏祭り<中止>	11/19～20	みんなの生活展(いきいきこまき)
12/3	いわざきふれあいまつり	2/18	久保区作品展
	野口の郷ふれあい祭り<中止>	2/25	こまき福祉のおしごとフェア
10/15～16	福祉展（小牧市民まつり）	4/7・5/11・6/3・7/7・9/8・10/6 11/10・12/8・1/12・2/9・3/2	小牧市老人福祉センター（野口）
随時	ふれあいセンター委託販売		

6. 実習・体験・見学・交流の受け入れ

	期 日	実 習 等 の 内 容	人数
実習	6/13～16	産業現場実習（一宮東特別支援学校 高等部）	1名
体験	7/26～ 8/17	中高生福祉体験学習	10名
◎実習	7/26～29	介護福祉実習	5名
◎実習	8/ 1～ 4	介護福祉実習	4名
◎実習	9/ 5～10/ 7	教員免許特例介護体験（名古屋造形大学）	11名
◎実習	11/ 7～12/ 2	教員免許特例介護体験（名古屋学院大学）	7名
実習	1/30～ 2/ 3	産業現場実習（春日台特別支援学校 高等部）	1名

◎は愛知県の民間社会福祉施設運営費補助金（施設運営費）の対象事業

7. ボランティアの受け入れ

事 業 内 容	人数等	
いきいき活動講師（音楽）	1個人	6回
いきいき活動講師（芸術）	1個人	2回
いきいき活動講師（体操）	1団体	4回
リトミック講師	1個人	9回
音楽療法講師	1個人	5回
日中活動（作業、活動）	2個人	4回
大掃除（WAX）：一寸奉仕	1団体	19名

8. 苦情の受付件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ご意見・要望：日中一時支援（タイムケア）の受け入れ調整について 1件

9. 公益的取り組み

- ・近隣への奉仕活動（ごみゼロ活動等）
- ・各種実習受け入れ（福祉人材育成等）
- ・災害時開放型自動販売機設置（飲料水）

10. 施設整備（設備整備）関係

作業室給湯設備改修工事およびトイレ手洗い温水化延伸工事
 工 期 令和4年11月25日から令和5年3月12日
 事業費 総事業費…1,683,000円

公用車車両整備
 納車日 令和5年3月23日
 事業費 総事業費…1,523,522円

II) 計画相談支援

(1) 内容

障害福祉サービスを利用する障がい者及びその家族の意思や選択に基づいた、サービス等利用計画を作成し、適切な福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるようにサービス利用の支援をしました。また、サービス等利用計画が適切であるかモニタリングをし、継続サービス利用の

支援も行いました。

(2) 契約者数 85名 (令和5年3月31日現在)

利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
いわざき	13	14	12	14	12	12	10	12	10	10	11	12	142
本庄	6	11	13	6	11	10	6	9	10	6	14	8	110
その他	12	3	7	7	3	3	4	8	5	8	5	4	69
合計	31	28	32	27	26	25	20	29	25	24	30	24	321

(3) 職員 2名 (令和5年3月31日現在)

管理者1名、相談支援専門員1名 ※兼務職員数を含む

Ⅲ) 日中一時支援事業 (公益事業)

(1) 内容

障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的に、日中活動の場を提供し、見守り等、支援を行いました。

(2) 契約者数 35名 (令和5年3月31日現在)

利用人数・日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日中活動	2	1	3	4	2	1	4	2	0	1	1	1	22
タイムケア	5	6	10	6	4	5	6	8	7	5	7	8	77
延日数	38	37	53	31	24	37	39	47	41	27	35	48	457

(3) 職員 9名 (令和5年3月31日現在)

管理者1名、生活支援員8名 ※兼務職員数を含む